

モールス体験資料について

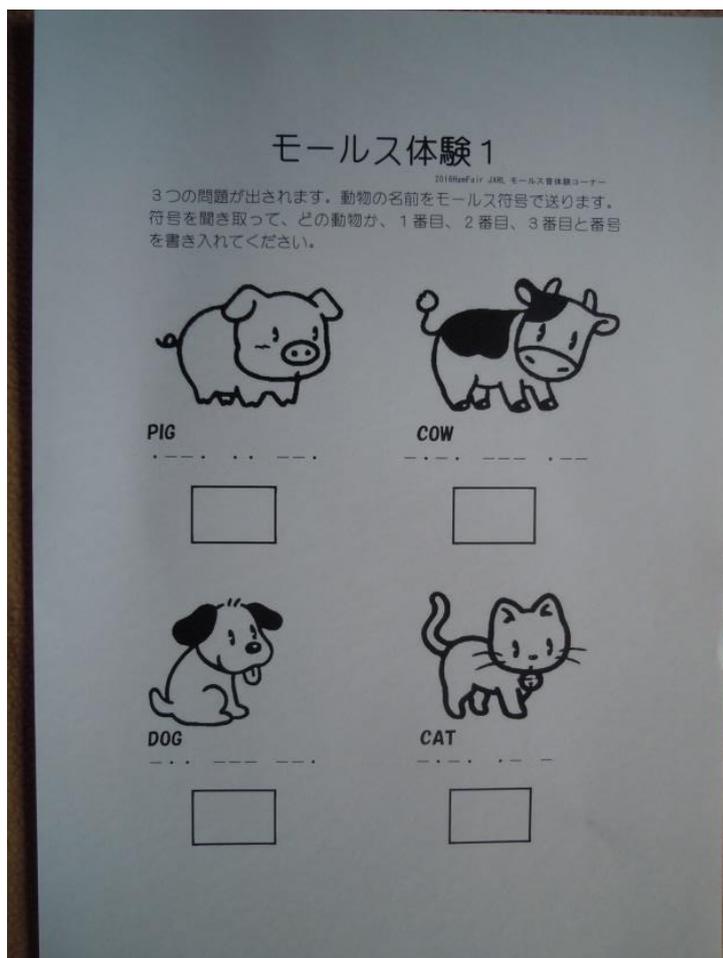
2016年のハムフェアで「モールス体験コーナー」を担当しました。来場した方に電信を体験してもらい興味を持ってもらうのが狙いでした。どうしたら興味を惹くかを考え、展示や話だけよりも体験してもらう方がよいだろうと考えました。そこで実際に短点と長点を組み合わせた音を聞いてもらい、その音によって情報を伝えることができる体験を企画しました。その際に使ったシートです。

○モールス符号表を示して、モールス符号が短点、長点、スペースで成り立っていることを電鍵を操作しブザーの音で示して、実際にいくつかの符号を聞いてもらいます。

○次に、下に示したシートを渡し、絵で示してある4つの単語を送信します。符号の成り立ちはそれぞれの絵の下に点と線で示してありますが、符号を覚えるというよりも聞こえてくる音のリズム・まとまりの違いに留意してもらいます。

○それぞれの違いに気づいてもらったら、「次に打つ符号は何を示しているか当ててください」と問いかけ、ブザーを鳴らします。

○シートでは送信した順番を尋ねるように記載してありますが、実際にやってみて一つずつ確認した方がよかったです。



○テーブルを囲んで1対1でも複数の方を相手にしても実施可能です。いろいろモールスにまつわる話をしながら進めると初めての方にも興味を持っていただけました。

○シートの絵の下にある四角い枠には正解したときに大きな○を付けてあげると、子どもたちは喜んでいました。

シートは5種類あります。1と2は欧文で、3、4、5は和文になっています。

欧文を使っている方が和文に興味を持たれたような場合、「試しにやってみましょうか」と誘ってみるのもいいと思います。また、全く初めてモールス符号に接する方には欧文と和文の違いを展示するなどにもこのシートが使えると思います。

シートは手元にそれぞれ 75 枚ほど残があります。必要な枚数をお届けしたいと思います。100 枚ほどでしたらクリックポストで185円で郵送することができます。送料はご負担ください。

